



# Dynavector Te Kaitora Rua Cartridge

## 取扱説明書

### ■ はじめに

このたびは、ダイナベクターMCカートリッジTe Kaitora Ruaをお買い上げいただき誠に有難うございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

### ■ 開発の経緯

Te Kaitora は1995年、ダイナベクターTOKYOとダイナベクターニュージーランドとのコラボレーションにより、海外専用モデルとして誕生しました。

前モデルは発売以来、ダイナベクターのトップクラスMCカートリッジとして、アメリカやヨーロッパの著名オーディオ誌にて、常に高い評価と賞賛を獲得してきました。この度、さらに飛躍的な改良を加え、Te Kaitora Ruaとして日本市場でも発売を開始しました。

チタン削り出しハウジングをベースにし、磁気回路にはダイナベクター独自のフラックス・ダンパーを採用、XV-1sと同様の磁気イコライザーや精密加工されたフロントヨーク等、高精度な磁気パーツを使用しています。

### ■ 主な特徴と改良点

#### 1. 完全手造りMCカートリッジ

Te Kaitora Ruaは、豊富な経験と熟練技術者による完全手造り品で、一品一品の綿密なる組立て調整により生産されています。

#### 2. PCOCC線採用

発電コイルにはXV-1sと同様なPCOCC線を採用しています。PCOCC線とダイナベクター独自の新開発磁気回路の絶妙のバランスにより、その再生音は限りなくスムーズで、他のMCカートリッジと一線を画すものです。

#### 3. 低出カタイプMC

出力はMCカートリッジとして標準的な0.26mVの出力電圧を確保しています。直流抵抗は6Ωで、市販の多くのヘッドアンプや昇圧トランスに適合します。ヘッドアンプの負荷インピーダンスは30Ω以上を推奨します。重量は9.8gでコンプライアンス10mm/Nはほとんどのトーンアームに容易に取り付け可能です。

#### 4. 高剛性の磁気回路

再生音に大きな影響を与える磁気回路は、チタン合金ボディの採用とともに、フロントヨークとリアヨークは磁石を介し、ステンレスボルトで堅固に結合され、これまでになく堅牢な構造となっています。



#### 5. 独自の磁気回路理論（特許取得）

再生音に影響する磁束内の磁束（フラックス）変動の干渉を消去するフラックスダンパーと内部磁気抵抗の低いアルニコ磁石を採用しています。これによりMCカートリッジにありがちな“ハーシュネス”がなく、その再生音は自然且つスムーズでアナログの良さを十分に堪能できます。

#### 6. 高精度磁気部品

フロントヨークと磁気イコライザーには、XV-1sと同様な、コストを除外した複雑な機械加工が施されています。これはエアギャップにおける磁束のリニアリティの理想を追求したもので、アマチュアに巻かれた、コイルの動きによって起こる磁束変動を可能な限り抑えています。

#### 7. ソリッドボロン・カンチレバー

6mm長の0.3φソリッドボロンカンチレバーにPathFinder (PF) ラインコンタクト針を装着。軽量且つリジッドな振動系を構成しています。



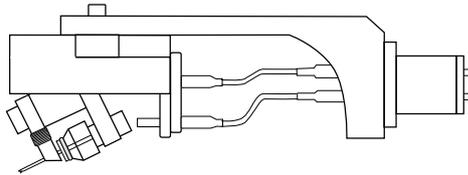
Kaitora (カイトラ) は、ニュージーランド先住民・マオリ人の言葉で、「Discovery (発見)」を意味し、Rua は2番目という意味です。また釣り針をイメージした「HOOK」マークはマオリ人のアーティスト John Bevan Ford によりデザインされました。

## ■ 取扱方法

### 1. トーンアームへの取り付け

付属のネジを用いてカートリッジをシェルに取り付けます。適合のネジサイズはM2.5です。取り付け部分が緩んでしまうと正しい再生が行われなかったり、カートリッジやレコードを傷めてしまうことがありますのでご注意ください。

取り付け位置はご使用のトーンアームのオーバーハングに合わせてます。詳しくはトーンアームの取扱説明書を参照ください。

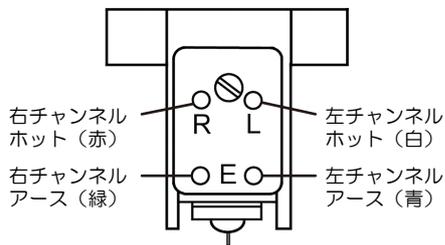


### 2. 接続方法

ピンセット等を使用し、各端子をリード線でヘッドシェル端子にしっかりと接続します。

端子ピン径は1.2mmです。1.0mmのコネクタは入らないのでご注意ください。間違った径のコネクタを無理に差し込むと、端子ピンやリード線を破損する場合があります。

配線に際して半田付けは絶対に避けてください。線材の内部断線の原因となります。



### 3. 針圧調整

適正針圧は1.8～2.2gで、室温20℃が基準です。室内温度が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。

### 4. 針先のクリーニング

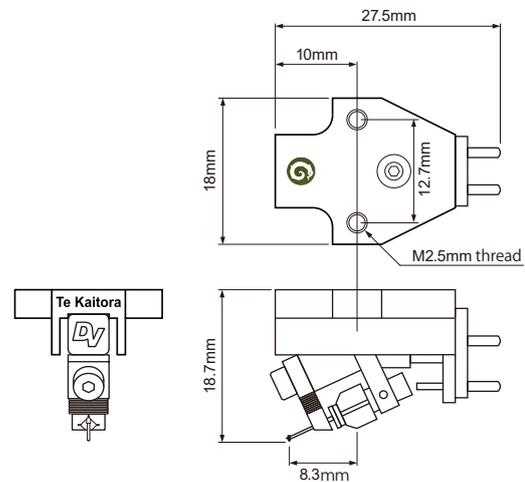
針先はカートリッジの性能を左右する大変デリケートな部分ですので、取り扱いにはご注意ください。針先の汚れは付属のスタイラスブラシなどで根本から針先に向かって軽く払うようにクリーニングしてください。

クリーニング液を使用する場合は、ノンアルコールタイプのクリーニング液を推奨します。クリーニング液はつけ過ぎず、特にダンパーゴムに付着しないようにしてください。

クリーニング後は、針先の水分が十分乾いてから使用してください。

### 5. 針交換

針先が摩耗した場合は、本体をお買い上げいただいたお店にお問い合わせください。実際の針交換修理か新品交換（価格が異なります）かご希望によりお選びいただけます。詳細は販売店にお問い合わせください。輸送中の破損を防ぐため、お買い上げいただいた時のパッケージは保存しておいてください。



## ■ 仕様

形式	: 低出力MCカートリッジ フラックスダンパー アルニコマグネットの採用
出力電圧	: 0.26mV (1KHz, 5cm/sec)
周波数特性	: 20- 20,000Hz± 1dB
チャンネルバランス	: 1.0dB以下 (1KHz)
チャンネルセパレーション	: 30dB以上 (1KHz)
コンプライアンス	: 10 mm/N
インピーダンス	: 6Ω
推奨負荷抵抗	: 30Ω 以上
スタイラスチップ	: PFラインコンタクト針
カンチレバー	: 6mm長 ソリッドポロン
針 圧	: 1.8～2.2g
重 量	: 9.8 g

## ダイナベクター株式会社

101-0031 東京都千代田区東神田 3-2-7  
TEL 03-3861-4341 FAX 03-3862-1650  
URL <https://www.dynavector.co.jp/>